

なごやの学童保育

市連協ニュース

2020年度 No. 8/2月2日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL (052) - 872 - 1972
 FAX (052) - 308 - 3324
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

施設木質化・家賃補助増

市が21年度予算編成

名古屋市は、2月上旬にまとめる2021年度予算案で学童保育の施設関連の補助金を増額する方針を固めました。プレハブ施設で、床や内壁を木材にする「木質化」に3800万円を計上。さらに賃借施設への家賃補助増額と移転費用補助の新設に合計で3500万円を計上します。1カ所当たりの補助額は2月2日現在では未定です。2月中旬に始まる市議会（2月議会）が予算案を審議し、決定します。

木質化は、鉄筋・鉄骨やコンクリートなども使いながら建物の一部に木材を用いるものです。今回の学童保育施設の場合は、基本構造は従来のプレハブのまま、床や内壁を木材にします。年度内に新設や建て替えをする予定する学童保育所（2月2日時点で19カ所）が対象で、従来のプレハブの経費に予算増額分を上乗せします。

木質化は、名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）が2020年度に市への要望として掲げていた「施設の木造化・木質化」が一部認められるものです。市が参考とした学童保育施設として、保護者の負担で床や内壁に無垢の木材を用いて施設を2019年度に移転・新設した港区の中川学童保育所がありました。子ども青少年局の局長らが視察をしたことは当ニュース20年12月号に既報の通りです。

今回の木質化は、個々の学童保育所に自由裁量が使える助成金を出すのではなく、プレハブ施設の基本仕様に木質化の項目を加えるものです。市連協は、限られた予算の中でより良い木質化ができるよう、有識者の指導も受けながら仕様についての要望も提出しています。

家賃補助の増額は、ここ数年、要望に掲げてきた内容です。家賃補助はここ数年で大幅に増額されたものの、補助額の上限は月額5万円（実

費の2/3）で、名古屋市の借家事情とはかけ離れたものでした。名古屋市はプレハブ施設を無償で貸与してくれるものの、土地は学童保育所側が確保することが原則です。土地を手当てできない場合も多く、高額な家賃負担は新設や移転の大きな支障になっていました。

移転費用の補助も歓迎すべき内容です。引越越し費用に加え、借りていた土地の返却、新たな土地の利用には、整地などの費用がかかるもので、これも保護者の大きな負担になっていました。

施設に対する2021年度の助成増額は、子どもたちが過ごす環境を改善するとともに学童保育所の運営を安定させる一歩となります。予算案の採択に向けて、今後の動向に注目しましょう。

子育て・保育・運営で交流しよう

3月7日（日）は学童保育研究集会

名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）は愛知学童保育連絡協議会（県連協）と共同で、毎年恒例の「あいち学童保育研究集会」を3月7日に、今回はオンライン形式で開催します。10時-12時が基調講演などの全体会（ZoomとYouTube）、13時30分~15時30分が、8つに分かれての分科会（Zoom）です。参加には2月28日（日）までの申し込みが必要です。（各学童保育所に配布・配信したポスター・チラシを参照）

開催に向けて、各区の代表らによる実行委員会が毎月開かれてきました。初のオンライン開催のため、各担当者によるZoomの使い方講習会も2月中に複数回予定されています。「オンラインでの参加の仕方がわからない」という人も大丈夫。今回は専門チームも組織し、みなさんの交流の場をサポートします。安心して多数の参加をお願いします。